

2012年2月8日

横浜ゴム、気仙沼大島での第2期復興ボランティア活動実施へ

横浜ゴム（株）は2月から3月にかけて、宮城県気仙沼市大島で従業員による復興ボランティア活動を実施する。すでに昨年、第1期の活動を行っており、今回は第2期目。1回4泊5日、計4回の活動を計画しており、1回につき約10名の参加を予定している。

このボランティア活動は、国連グローバル・コンパクト※に署名した企業などで構成される「グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク」が企画したボランティア・ツアーに参加するもの。同ツアーは昨年は1回5泊6日で9月から11月の期間に計9回実施され、横浜ゴムを含め派遣企業9社からのべ284人が参加した。

昨年、横浜ゴムは10月から11月にかけて、計6回のツアーでのべ48人の従業員が参加。現地では、馬鹿と言われても島に残るという意味で名づけられた島民の青年団「おばか隊」から振り分けられた瓦礫の撤去作業、養殖用いかだ作りなどを行った。また、島民の被災体験談を聞いたり、中学生と共同で行う浜辺の清掃作業などを通じて被災地住民との交流も深めた。

なお、気仙沼大島でのボランティア活動を含めた横浜ゴムの復興支援活動は、昨年10月から横浜ゴムのWebサイトで紹介を続けている。復興ボランティアに参加した従業員による手記と写真で構成された「活動レポート」などを計10本掲載している（2012年1月末現在）。紹介サイトは「東日本大震災に関する横浜ゴムの取り組みについて」（<http://www.yrc-pressroom.jp/disaster/index.html>）。

※国連グローバル・コンパクト…国連が企業に対し、持続可能性と責任あるビジネスを行うために提唱したイニシアチブ。企業の最高経営責任者が人権、労働基準、環境、腐敗防止に関する10原則を受諾、支持、遵守して事業活動を行うことを求めている。



建物内の瓦礫撤去作業



カキ養殖用のいかだ作り

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：菊地
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570